

令和8年度 「市民とつくる協働のまち事業」採択事業一覧

No.	応募団体名	事業名	応募事業の概要
1	一般社団法人みつばちビレッジ	障害がある人もない人もみんなが笑顔になれるイベント『ふれあいフェスタ2026inかんまちあ』	「誰もが主役になれる1日」をコンセプトに、参加者同士の心の距離を縮める工夫や異なる属性の人々が自然に会話を交わす仕掛けを作り、心理的・物理的な障壁を取り払った交流イベントを開催する。
2	特定非営利活動法人姿勢と体の教室	姿勢体操指導及び傷害予防等に関する研修・教育普及事業	<p>①「姿勢教室」の実施 座った状態での姿勢を改善し、視力低下・頭痛・肩こり・腰痛等を予防するため当団体で作成した「TONUS振り子体操」を指導し地域コミュニティ・企業を対象にした講座を開催する。</p> <p>②「転倒予防教室」の実施 立った状態でリズムに合わせて行う全身体操でしゃがみ動作と歩く時の足の使い方を改善することで、転倒・怪我等を予防する「てあしタッチ体操」指導により転びにくい歩き方を身に着けることを目的とした地域コミュニティでの講座を開催する。</p> <p>③体操パンフレット・教室案内の作成ならびに送付 「TONUS振り子体操・てあしタッチ体操」のパンフレットを作成し、地域コミュニティ・企業への設置を依頼する。</p>
3	R i t t a	生活に困難を抱える人などのための生活相談支援事業 障害児者家族支援レスパイトスペースmoe	病児、障害児者のケアをしている全ての家族を対象とした、ゆったりとした時間を過ごすごはん交流会、おはなし会、子育て先輩ママと一緒に情報交換会、外部講師を招いたきょうだい児（ヤングケアラー）のワークショップ、親子で文化芸術体験（音楽鑑賞会等）の啓発活動を行う。また、障害者自らが表現発表者としての舞台を制作から共に創る。
4	HSP/HSC鹿児島やさしいハリネズミの会	HSP/HSCチャレンジ ハリーdeマルシェ	専門のサポーターや、HSPの保護者や子どもが主催のマルシェを開く事により、チャレンジできる機会と保護者同士のつながりを作りながら、安心した場所でHSCの子ども達が自信をつけて自立につながる支援を行う。

No.	応募団体名	事業名	応募事業の概要
5	せごだん	西郷団地の私設公民館の有効利活用を語るトークイベント	施設「よりどり」の運用について、空き家利活用の啓蒙も含めて、まちづくり活動に取り組んでいる講師を外部から呼んでカフェ形式でトークイベントを開催する。 また会場に來れない遠方の方や他団地の方のためにオンライン配信を行う。
6	特定非営利活動法人居場所ー共学ステーションかごしま	「外国人も日本人も住みやすいまちづくりのための日本語教育」シンポジウム事業	「日本語教育空白地域」の問題に関して第一線で全国的に活躍されている専門家を招聘し、整理された情報・提言等を聞き、今後のあり方を学び、また、すでに鹿児島地域でこのような課題に取り組んでいる実践者に参加を呼びかけ、それぞれの活動報告や問題点・要望などを互いに学び合うシンポジウムを実施する。
7	NPO法人かごしま企業家交流協会	持続可能なための「外国人とのつどい“2026”」～知り合う。繋がる。連携する。～	外国からの移住者は増加しているが、外国人移住者の定着化は県政の重要な課題であり、外国人が安心して定着し、孤立させないシステムづくりが必要である。 そこで、継続的な県レベルの「外国人との交流の場づくり」と「ネットワーク化」を図ることを目的に「外国人とのつどい“2026”」を開催する。